



【水俣病公式確認 70 年記念 巡回写真展・関連イベント】 「水俣からあなたへ——わたしたちのあらゆる ^{いま} 現在のために——」 を東京外国語大学にて開催

～教員と学生による事前勉強会を経て結実——写真集公刊にあわせ、
写真家・編集者・研究者・学生がともに語り合う「思考と感性のリレー」を目指す～

本年（2026 年）は、水俣病が公式に確認されてから 70 年という節目の年にあたります。

東京外国語大学（東京都府中市、学長：春名展生）海外事情研究所（所長：真島一郎）は、一般社団法人 水俣・写真家の眼（熊本県水俣市）、および JSPS 科研費基盤研究(A)「21 世紀における他者の痛みの交差性」（代表：熊本大学・慶田勝彦）との共催により、2026 年 10 月 28 日（水）から 11 月 13 日（金）まで、東京外国語大学 研究講義棟 1 階ギャラリーにて、水俣病公式確認 70 年記念 巡回写真展・関連イベント「水俣からあなたへ——わたしたちのあらゆる現在（いま）のために」を開催いたします。

本展の開催にあたっては、学内で教員と学生が繰り返し勉強会を行い、テーマについての思索を深めてまいりました。会期中には 9 人の写真家が捉えた作品 42 点の展示に加え、ギャラリートークや、勉強会に参加した学生も登壇するトークイベントを実施いたします。

【開催背景】

水俣病公式確認70年にあたる今年、歳月をかけて水俣を撮りつづけてきた9人の写真家による作品集『水俣からあなたへ 9人の写真家が見つめた水俣病の70年』が公刊されました。70年前に水俣で表面化した問題は、私たちが現在生きる社会、世界、惑星のありかたに、なおも根源的な問いを突きつけています。

【企画趣旨と東京外国語大学における取組の意図】

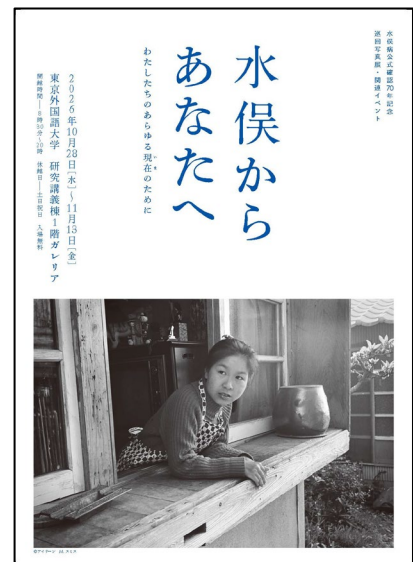
——人間はこれからどう生きていくのだろう。水俣からあなたへ。

水俣の問いは、私たちのあらゆる現在に遠く近く連絡しています。本展では、写真という記録媒体をつうじた「水俣からあなたへ」の中継、見えるものと見えないもの、明滅するモノクロームの彼方から「あなた」に宛てた、思考と感性のリレーを目指します。

東京外国語大学では、この写真展の開催に向けて教員と学生が繰り返し勉強会を重ねてきました。歴史的な公害問題や表現に向き合い、現代の大学という教育・研究の場からどのように次世代へ問いを継承していくかを議論してきたプロセスそのものが、本企画の大きな軸となっています。

最終日（11月13日）のトークイベント「真実をうつす、見えないものをみる」では、水俣を撮り続けてきた写真家や出版社の編集者、研究者に加え、共に学びを深めてきた本学の学生も登壇いたします。専門家と学生が対等に対話し、それぞれの視点から水俣病の記憶と「これからの生き方」について思索を交わします。

【次ページへ：開催概要等】



本企画のフライヤー（表）

< 報道の方からのお問い合わせ >

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）TEL 042-330-5857 E-mail koho@tufs.ac.jp

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）TEL 042-330-5857 E-mail koho@tufs.ac.jp

**【関連イベント情報】**

- ワークショップ「わたしだけの小さな水俣展をひらく」
 - ・ 日時：10 月 27 日 [火] 17 時 40 分～19 時 10 分
 - ・ 会場：東京外国語大学研究講義棟 3 階 326 教室
 - ・ コール：小泉初恵（水俣・写真家の眼事務局）
 - ・ 備考：※一般参加者の事前受付は終了しておりますが、報道関係者の取材・ご来場は可能です。
- ギャラリートーク
 - ・ 日時：11 月 13 日 [金] 16 時 30 分～17 時
 - ・ 会場：東京外国語大学研究講義棟 1 階ガレリア
 - ・ 案内人：芥川仁（写真家、水俣・写真家の眼）、
真島一郎（東京外国語大学 教授、同大海外事情研究所 所長）
 - ・ 参加方法：申込不要。当日会場へお越しください。
- トーク「真実をうつす、見えないものをみる」
 - ・ 概要：事前勉強会を重ねてきた学生や教員、写真家、編集者、研究者が登壇し、多角的な視点から議論を深めるトークイベントです。
 - ・ 日時：11 月 13 日 [金] 17 時 40 分～19 時 30 分（受付 17 時）
 - ・ 会場：東京外国語大学研究講義棟 1 階 115 教室
 - ・ 登壇者：
 - ・ コール：芥川仁（写真家、水俣・写真家の眼）、香室結美（熊本大学文書館 特任助教）、
小泉初恵（水俣・写真家の眼事務局）
 - ・ レスpons：奥羽香織（水俣・写真家の眼事務局）、當眞文（株式会社リトルモア 編集者）、
池田優・廣澤信之（ともに、東京外国語大学 学部学生）、
大川正彦・真島一郎（ともに、東京外国語大学 教授）
 - ・ 参加方法：申込不要。当日会場へお越しください。

【本件に関するお問い合わせ先】

- 東京外国語大学海外事情研究所 E-mail: imajima@tufs.ac.jp（真島研究室）
- 一般社団法人 水俣・写真家の眼 E-mail: 9project1212@gmail.com（担当：小泉）

【取材のお申込み先】

- 東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂） E-mail: koho@tufs.ac.jp

【次ページへ：本企画のフライヤー】

＜報道の方からのお問い合わせ＞

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）TEL 042-330-5857 E-mail koho@tufs.ac.jp



水俣病公式確認70年記念
巡回写真展・関連イベント

水俣から あなたへ

わたしたちのあらゆる現在^{いま}のために

2026年10月28日〔水〕～11月13日〔金〕
東京外国語大学 研究講義棟1階ガレリア
開館時間—8時30分～20時 休館日—土日祝日 入場無料



©アイリーン M. スミス

【次ページへ：本企画のフライヤー（裏面）】

< 報道の方からのお問い合わせ >

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）TEL 042-330-5857 E-mail koho@tufs.ac.jp



「人間はこれからどう生きていくのだろう。」 水俣からあなたへ。」

——水俣病公式確認70年にあたる本年、歳月をかけて水俣を撮りつづけてきた9人の写真家による写真集、『水俣からあなたへ』9人の写真家が見つめた水俣病の70年』が公刊されました。

70年前に水俣で表面化した問題は、わたしたちが現在生きる社会、世界、惑星のありかたに、なおも根源的な問いを突きつけます。水俣の問いは、わたしたちのあらゆる現在に近く、連絡しています。本展では、写真という記録媒体をつうじた「水俣からあなたへ」の中継、見えるものと見えないもの、明滅するモノクロームの彼方から「あなた」に宛てた、思考と感性のリレーをめざします。

会期中には、「水俣・写真家の眼」を中心とするワークショップ、ギャラリートーク、トークイベントも開催します。展示とあわせて、ぜひご参加、ご来場ください。

東京外国語大学

研究講義棟 1階ガレリア

東京都府中市朝日町 3-11-1

JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多摩」駅下車徒歩5分（JR新宿駅から約40分）
京王電鉄「飛田給」駅北口より多摩駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車



©芥川 仁

主催：一般社団法人水俣・写真家の眼、東京外国語大学海外事情研究所、IGPS科学研究基金研究(A)「21世紀における他者の痛みの交差性」
(廣田勝彦代表 122H0036)
協力：熊本大学文書館、株式会社リトルモア、東京外国語大学哲学会
本この写真展は、熊本県水俣市の「水俣病公式確認70年地域連携事業」の助成を受けて実施します。

関連イベント

○ワークショップ

「わたしだけの小さな水俣展をひらく」
日時—10月27日「火」17時40分～19時10分

会場—東京外国語大学

研究講義棟 3階 326 教室

コール—小泉初恵（水俣・写真家の眼事務局）
定員—20名（受付は終了いたしました）

○ギャラリートーク

日時—11月13日「金」16時30分～17時

会場—東京外国語大学

研究講義棟 1階ガレリア

案内人—芥川 仁（写真家、水俣・写真家の眼）
真島 一郎（東京外国語大学・教員）

申込は不要です。当日、会場にお越しください。

○トーク

「真実をうつす 見えないものをみる」
日時—11月13日「金」17時40分～19時30分
(受付17時)

会場—東京外国語大学

研究講義棟 1階 115 教室

コール—芥川 仁（写真家、水俣・写真家の眼）
香室結美（熊本大学・教員）

レスポンス—小泉初恵（水俣・写真家の眼事務局）
奥羽香織（水俣・写真家の眼事務局）
富岡 文（株式会社リトルモア）

池田 優、廣澤信之（東京外国語大学・学生）

大川正彦、真島 一郎（東京外国語大学・教員）

申込は不要です。当日、会場にお越しください。

○お問い合わせ

水俣・写真家の眼

Project123@gmail.com（担当：小泉）

東京外国語大学海外事情研究所

imagina@u-fs.ac.jp（真島研究室）

< 報道の方からのお問い合わせ >

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）TEL 042-330-5857 E-mail koho@u-fs.ac.jp